
SAW8 1

ロックマンXオタク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S A W 8 1

【Nコード】

N 1 4 3 9 P

【作者名】

ロククマンXオタク

【あらすじ】

前回、閉じ込められたホフマンが蘇る！？

ゲームの始まり

私は見ている……

そう、一人の男が浮き輪の上で気絶しているのだ。

さあ、そろそろ起きる頃だ……

？「う、……うわぁ！何だこれは！？」

そのとうりだ。

水の下にはデカイ「ファン」があるのだ。

男は暴れて、浮き輪から落ちてしまった。

そろそろか……

《やあ、ハロルド君……、君は人を溺れさせて殺した……だが今日は君が溺れる番だ……、30秒間必死に泳いでもらう……30秒間泳ぎきれなかったら……

下の「ファン」に巻き込まれて貰う……》

「嫌だ！死にたくない！」

ウィィィィンという音と共にファンが回り始めた……

「クソオオオオオ！」

初めの方は頑張っていたが、腕がつったのか、泳ぎを止めた。

「ちきしょおおおお！」

水の中とは思えない声で叫んだ。

ハロルドは粉々になった

水面に腸や血が臓器が浮かび上がっている。

そして私は最後にこう言った……

「ゲームオーバー」

『またもやジグソウのゲームの被害者が発見されました。マーク・ホフマン容疑者のじょ……』

私はコーヒーを飲みながら、考え事をしていた

「最後の装置が思い付かない……、まあ……後でゆっくり考えるか……

……」

私は、地下室へ向かった……

「ホフマン」

くそっ！

何で俺が鎖に繋がれなければいけないんだ！

その時だった。

カツンカツンという足音が聞こえた。

ガシャン！とドアが開いた。

「ゴードン……てめえ何でここにいやがる！」

「ホフマン……お前にチャンスを与えてやろうと思ってな。」

「チャンスだと？」

「そうだ……だが、お前が他の人にやって来た事をしてやる！」

次の瞬間、俺の視界が真っ暗になった。

そして、とうざかる意識………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1439p/>

SAW8 1

2010年12月20日18時31分発行